

基本的な学習内容 ⑦

3年 氏名（ ）

【国の政治のしくみ ④・地方の政治と自治 ①】（教科書P90～94）

① 啓蒙思想家で、「法の精神」を著し、三権分立の必要性を説いた人物は誰か。

①

② 国会と内閣の関係について、内閣に与えられている権限を1つ挙げなさい。

②

③ 国民と裁判所の関係について、最高裁判所の裁判官は、国民の投票によって審査される。これを何というか。

③

④ 国会や内閣と裁判所の関係について、国会が制定した法律や内閣の行政処分などが憲法に違反していないかどうかを裁判所がチェックできるしくみを何というか。

④

制

⑤ 国会と裁判所の関係で、問題のある裁判官を裁く裁判を国会内に開くことができる。これを何というか。

⑤

裁判

⑥ ⑤のように、最高裁判所は法律などが合憲か違憲かの最終決定権をもっているため、別に何と呼ばれているか。

⑥

⑦ ⑥について、刑法200条では「親などの身内を殺した場合は死刑や無期懲役など重罰にする」という規定があったが、最高裁判所により違憲とされ、現在は削除されている。なぜ違憲と判断されたのか。憲法の内容に触れて簡潔に説明しなさい。

⑧ 地域社会の課題については、住民の意思に基づいて地方が運営される。このことを何というか。

⑧

⑨ ⑧を行う主な場となる、市区町村や都道府県などを特に何というか。

⑨

⑩ 地方の運営は⑨が主に行うべきであるという原則のもと、民主政治の原点であることから「民主主義の学校」と呼ばれる考えは何か。

⑩

⑪ 最近では、国の役割を⑨などの地方に移す動きがある。これを何というか。

⑪

⑫ ⑨について、県では知事、市では市長など、それぞれの組織の長をまとめて何というか。

⑫

⑬ ⑫について、高知県知事は誰か。

⑬

氏

⑭ ⑫について、土佐市長は誰か。

⑭

氏

⑮ ⑨で制定される独自の法を何というか。

⑮